

A-95 ホロホロ鳥とニワトリの筋脂肪の分布について
三島学園女短大 ○八木恭子 遠藤ケイ

目的 ホロホロ鳥とニワトリのもも肉(半膜様筋)および手羽肉(浅胸筋)について筋脂肪の分布と量を組織学的に調べた。

方法 ホロホロ鳥(ノスノ日令)5羽とニワトリ44日令, 73日令, 120日令, 600日令をそれぞれ5羽ずつ殺処分し, 半膜様筋および浅胸筋を採取した。筋肉は10%中性ホルマリン液に固定しゼラチンに包埋して, 30 μ の凍結切片を作成した。脂肪染色は *sudan black B* 脂質一般染色および *nile blue* 中性脂肪染色によって行った。

結果 1) ホロホロ鳥もニワトリも浅胸筋に比較して半膜様筋の方が脂肪沈着は多かった。2) 半膜様筋において, ホロホロ鳥はニワトリに比べ, 筋線維(赤筋)に脂肪沈着が多く, 筋原線維の間隙に散在していた。筋周膜における沈着も著しかったが筋内膜には認められなかった。一方, ニワトリは44日令では筋線維および筋周膜における脂肪沈着は少ないが発育に伴って次第に増加する傾向が見られ, 600日令のニワトリでは筋内膜にも少量の沈着が認められた。3) 浅胸筋にはホロホロ鳥もニワトリも筋線維および筋内膜に脂肪沈着は認められなかった。ホロホロ鳥では筋周膜に中等量の沈着が見られた。ニワトリは44日令で第2次内筋周膜に少量の沈着が見られた程度で, 73日令でも著しい変化は見られず, 120日令でおそらく増加し, 600日令のニワトリでは, 筋周膜における脂肪沈着度がホロホロ鳥とほぼ同様であった。